

平成 27 年度 政策評価シート

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
まちづくりの方向性	<p>自然環境、歴史・文化を保全・育成し、都会に近い身近な自然環境と田舎の風景、穏やかな住環境を活かした観光を振興し、農業と漁業の振興を図ります。</p> <p>また、地域の素材を大切に商品づくり等による商工業振興や、高齢者世代や子育て世代のニーズに応えた商工業振興を進めます。</p> <p>さらに、町の特性を活かした農業、漁業、商工業と観光の有機的な連携と、町民との連携・協力により、町の活性化を図ります。</p>

取組状況

	重点的方針	内容	実績の推移			備考
			H25	H26	H27	
1	二宮の自然、文化、住環境の魅力	町の自然、歴史・文化を発掘し活用するとともに、町民の暮らしに自然を取り込み、豊かな暮らしづくりを創造しようとする取組を、二宮の自然、文化、住環境の魅力づくりとして発展させます。	B	B	/	
2	「二宮ブランド」の開発と活性化	既存のブランド商品のブランドとしてのレベルアップや販路開拓を行うだけでなく、新たな農業特産物を活用した新商品の開発や、町民や各種団体・各グループの取組も二宮ブランドへ融合、発信していくことにより、商品力の向上を図るとともに、農林漁業の振興に努めます。 他のまちづくり施策と一体になって「生活の質」や町の風景・文化そのもののブランド化を進め、地域経済の活性化を図ります。	B	B	/	
3	「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出	町民や来町者が日頃から健康づくりやスポーツに取り組むように促し、健康づくりの町として、健康で活気のあるまちづくりに取り組みます。 スポーツは、仲間を通して、つながりやきずなを作り出します。町民や町民団体との協力・連携により様々な企画を行い、地域コミュニティによる「地域の力」の向上を進めます。	B	B	/	
4	多様な観光メニューの開発による観光の振興	町の歴史、文化、風景の魅力を再発見し、その魅力を観光客に提案することや、町のブランド品の魅力を高め、魅力あるおもてなしを提供するなど多様な観光メニューを開発します。 観光協会と協力・連携して、買い物を楽しめるような体制を整えるとともに、観光客が様々な思い出を持って帰宅する「通年型日帰り観光」の開発に努めます。 これらの取組にあたっては、町外の他の地域との広域連携にも努めます。	B	B	/	
5	交流拠点の創出	基本構想「土地利用構想」で位置づけている交流拠点について、アクセスの向上と管理運営方法や魅力づくりを検討します。 町の玄関であるJR二宮駅周辺地区の交通環境を拡充するとともに、商店街と地権者の協力を得てまちづくりの検討を進めます。 東京大学農学部二宮果樹園跡地については、社会状況の変化や町民ニーズ、町の公共施設の立地状況を踏まえ、町民参加によって、土地利用や実現方を暫定的な土地利用も含めて検討します。その際に、町民の「まちづくりの力」による施設利用、民間の活力の活用等多様な実現手法を検討します。	B	B	/	

町民満足度調査の結果 重要度 100 重要 75 やや重要 50 どちらとも言えない 25 あまり重要でない 0 重要でない

満足度 100 満足 75 やや満足 50 どちらとも言えない 25 やや不満 0 不満

	設問内容	重要度		満足度		重要度と満足度の差
		前回調査	H27	前回調査	H27	
	二宮の自然、文化、住環境の魅力		74.1		53.8	20.3
1	生涯学習の役割の明確化		68.5		52.3	16.3
2	青少年の育成		72.3		51.3	21.0
3	文化振興の推進		68.3		55.0	13.3
4	ふるさと教育の推進		69.3		54.0	15.3
5	生物多様性の保全		78.8		55.3	23.5
6	循環型社会の推進		82.8		57.5	25.3
7	低炭素社会の形成		76.0		48.0	28.0
8	公共下水道の整備と管理		81.0		57.8	23.3
9	公園・広場の充実と適切な管理運営		76.5		49.0	27.5
10	緑地の保全と緑化の促進		78.5		58.0	20.5
11	町民活動創出支援		68.8		54.5	14.3
12	人権・平和の推進		68.8		53.0	15.8
	「二宮ブランド」の開発と活性化		70.4		49.2	21.2
1	農林業振興の推進		68.8		49.8	19.0
2	水産振興の推進		70.0		49.5	20.5
3	漁業基盤の整備・維持管理の推進		70.8		47.3	23.5
4	地域資源を活かした効果的な農地の保全		70.8		49.0	21.8
5	特産品の普及と二宮ブランドとの連携		70.5		51.0	19.5
6	魅力ある二宮ブランドづくりの推進		70.3		48.0	22.3
7	農・海・里山のあるまちづくり		72.0		50.0	22.0
	「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出		64.8		53.3	11.5
1	地域スポーツの振興		64.5		54.8	9.8
2	活動支援の充実		65.0		51.8	13.3
	多様な観光メニューの開発による観光の振興		70.9		46.2	24.8
1	観光まちづくりの推進		68.5		46.0	22.5
2	商工業の振興		71.5		44.8	26.8
3	中小企業への支援		72.8		47.8	25.0
	交流拠点の創出		64.8		48.3	16.5
1	交流ゾーンの検討		64.8		48.3	16.5

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	B
	<p>説明</p> <p>基本構想「環境と風景が息づくまちづくり」における5つの施策のうち「二宮ブランド」の開発と活性化」「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出」「多様な観光メニューの開発による観光の振興」「交流拠点の創出」について、町民が重要と考える割合と満足度の差に着目すると、「多様な観光メニューの開発による観光の振興」について、重要度と満足度の差がやや大きく、「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出」について、重要度と満足度の差が小さい。また、個別事業では、低炭素社会の形成や公園・広場の充実と適切な管理運営について、重要度と満足度の差がやや大きく、さらなる取り組みが求められる一方で、地域スポーツの振興と活動支援の充実、文化振興の推進、町民活動創出支援について、重要度と満足度の差が小さい。</p> <p>今後、町民や町民団体、関係機関が連携を図り、町内外の方に二宮町の魅力を知ってもらうための取り組みを推進するほか、環境問題に対する意識の高い町民とともに取り組む低炭素社会の形成や公園・広場の充実を通じ、自然環境に恵まれ、住みやすいというこの町の特徴を「二宮スタイル」や「二宮ライフ」などとしてブランディングし、PRしていく事業展開が必要である。</p>	

外部評価[まちづくり評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	
意見等		

町の最終方針[庁内評価委員会]		
	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き政策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 政策を推進するためには、施策を改善する必要がある D: 政策全体を見直す必要がある</p>	
方向性		